



広重版画より 三島 朝霧

第2464回例会

2026.8.13晴

司 会

渡邊真生君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 西本和夫君

会長挨拶

副会長 川名正洋君

こんにちは、毎日暑い日が続きますね。
最近人に会うと挨拶がわりに「暑いね、暑いからビールが売れていいね!」と言われます。確かに寒いより暑い方がビールは売れますが、ただ暑ければいいというわけでもありません。
気象と売上の関係を分析する業界では、ビールの需要がグッと高まるスイッチの気温は「最高気温25度以上」と言われています。最高気温が25度(夏日)を超えてくると、「冷たい飲み物で涼みたい」という欲求が強まり、飲食店や小売店でビールの動きが活発になります。
ちなみに、気温が1度上がると、どれくらい売れるか?という、ビール業界のよく知れた目安として、販売数量が大瓶換算(633ml)で1日あたり約80万本増えると言われています。ほんの数度の違いで、メーカーの出荷量やビアガーデン、スーパーの売上に数億円規模のインパクトがでるため、各社は気象予報を非常に重視しています。ただし、「猛暑になりすぎると売れ行きが落ちます」35度を超える猛暑日は気温が上がりすぎて、かえって「買い出しに出かけるのが面倒になる」「外で飲む人が減る」「ビールよりも、よりアルコール度数が低いものや、かき氷・アイスなど直感的に冷たいものが選ばれる」といった理由でビールの売上が鈍化・減少する傾向があり、最適な「ビール日和」は単に暑いだけではなく、「晴れていて、最高気温が30度前後のカラっとした暑さ」と言われています。
そのような天気が続くことを願って話を終わりにします。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	40/48	83.33%	41/48	85.42%
今回	34/48	70.83%	会員総数	54名

欠席者 秋元君、勝俣君、畔柳君、小塚君、鈴木(和)君、須田君、諏訪部(照)君、諏訪部(行)君、田代君、平出君、古屋君、増田君、森藤君、山田君、山本君

幹事報告

幹事 杉崎亮慈君

1. 本日の卓話は、会員増強維持委員長の渡邊 聡さんです。よろしくお願いいたします。
2. 次回例会は、例会場が変更となります。
日時:8月27日(木)12:30~ 会場:米山梅吉記念館
卓話は、柴崎恵子さんです。よろしくお願いいたします。
3. 子ども食堂募金について
毎回お願いになりますが、子ども食堂への募金のご願いです。「TABLE FOR TWO」。直訳すると、「2人のための食卓」という意味です。自分がこうして食事をできる幸せと同時に、もう一人の誰かにも食事を届ける。そんな考え方です。もちろん、募金は皆さんの善意によるものですが、親睦活動委員会では一つの目安として目標額を設けています。その目標を毎回の例会に置き換えると、お一人あたり約200円で達成することができます。本当に、皆さんのポケットの中にある小銭で十分です。その小銭が、子どもたちにとって、「この地域の大人たちは、君たちのことを見ている。見捨てていない」というメッセージにもなるのではないかと思います。ぜひ、皆さんの温かいご協力をお願いいたします。

おめでとう

会員誕生日 渡邊(真)君、矢岸君
入会記念日 秋山君、西川君、町野君、
野田君、鈴木(正)君

スマイルボックス

8月6日のスマイル

◆栗原(康)君、先日のゴルフ同好会藤江年度取りきり戦、メンバーにも恵まれ優勝させていただきました！ありがとうございました。久しぶりの入賞が、取りきり戦優勝ということでとてもうれしかったのですが、そんな日に限り反省会に出席できず残念でした。もうひとつ、8月8日に朝日テレビの「旅サラダ」にて紹介されます。久しぶりの全国放送で楽しみです。静岡ローカルでも8月12日もしくは13日のただいまテレビでも紹介されます。ぜひ見てください。



◆室伏君、先日のテーブル会、ホテルでのバイキング、ありがとうございました。料理が多すぎて満腹！飲む暇がなかったというクレーム、すみません。もうひと口スマイルです。夏祭りはホテル1階でオープンカフェ開催、お立ち寄りください。

◆山本君、7月28日、伊豆の国市のクハにてAテーブル会を総勢9名で開催しました。ランチは10月まで予約が取れない人気店です。バラエティに富んだ和食のコースをいただきながら楽しい時間を過ごしました。車に乗せてくださった増田さん、渡邊まさおさん、ありがとうございました。お釣りをスマイルします。

◆ゴルフ同好会、藤江年度 取切戦ゴルフコンペを7月26日(日) 富嶽カントリークラブにて開催しました。優勝 栗原さん、準優勝 千葉さん、3位 前田智子 さんでした。今回は前田年度第1回で、9月6日(日)朝霧ジャンボリーゴルフクラブにて開催します。

8月13日のスマイル

◆二村君、先日高校の同窓会がありました。47年たつと誰かわからなくなりました。楽しい時間を過ごすことができました。

◆加藤君、10月3日のアーバンスポーツフェスに向けて計画をすすめています。委員会メンバーでない方にも出来るだけ参加して関わって頂けると助かります。広報DXや親睦、SAAにも仕事を依頼します。よろしくお願いします！

◆鏡君、お盆中にて、早退させていただきます。

卓 話

「会員を増やすのではなく、仲間を増やす」
— 入会2年の私が、会員増強セミナーで考えたこと —

渡邊 聡君

皆さん、こんにちは。今日は、会員増強についてお話をさせていただきます。……と言っても、私はまだロータリーに入って2年です。ですから、「会員を増やすには、こうしよう」と偉そうにお話するつもりはありません。むしろ今日は、「なぜ私は、この三島西ロータリークラブに入って2年間、楽しく続けてこられたのか」ということを、自分自身の体験からお話したいと思います。

8月8日の会員増強セミナーで聞いたこと

まず、セミナーのパネルディスカッションでは、掛川ロータリークラブさんと、せせらぎ三島ロータリークラブさんのお話を伺いました。非常に印象に残ったのが、「会員を増やすために活動する」のではなく、「ロータリー活動そのものを一生懸命やっていたら、そこに人が集まってくる」という考え方でした。掛川ロータリークラブさんでは、地域のイベントへの参加。子どもたちの活動への協賛。プロギング。駅伝。ポリオの募金。地域の方々と一緒に汗をかく活動。そういうことを、とにかく積極的にやっている。そして、「ロータリーって何をやっているんですか？」と聞かれる。そこから、「ロータリー、一緒にやりませんか？」という声かけにつながっていく。せせらぎ三島ロータリークラブさんも同じでした。カンボジアで井戸を掘る。現地の子どもたちに安全な水を届ける。そういう活動を、若い会員も中心になってやっている。そして、その活動について人前で話す。すると、そこに共感する人が出てくる。新しい仲間が入ってくる。ここで私は、「なるほど。会員増強って、勧誘活動だけじゃないんだな」と思いました。そして、その後に講師のお話がありました。これが、私にとって非常に印象に残りました。

「人は寂しいから集まる」

講師の先生が、人間には本能的に、「集団に所属したい」という部分があるというお話をされました。人間は、一人では生きていけない。同じような考え方を持つ人。同じような夢を持つ人。そういう人たちと一緒にいたい。だから人は集まる。そして、ロータリーもそうなんじゃないか。というお話でした。さらに印象に残ったのが、「ポール・ハリスは、なぜロータリーを作ったんですか？」という話です。理念。奉仕。友情。いろいろな答えがあると思います。でも、ポール・ハリスが答えたのは、「寂しかったから」だった。「寂しい」という言葉だけを聞くと、ちょっと変に聞こえるかもしれませんが。でも、人となりがたい。誰かと一緒に何かをしたい。自分と同じ方向を向いている人と時間を過ごしたい。これは、すごく自然なことなんじゃないかと思いました。そして、「これって、三島西ロータリークラブそのものじゃないか？」と。

私が三島西RCに入って2年

私は三島西ロータリークラブに入って、まだ2年です。ロータリー歴だけで言えば、皆さんの方が圧倒的に長い。ですから、私がクラブについて語るのには少し恐縮します。でも、入って2年だからこそうえるものもあると思っています。私は、三島西ロータリークラブの皆さんのことを尊敬しています。特に、「先輩方が、これまでこのクラブを作ってきた」ということに対して、非常に敬意を持っています。その象徴の一つが、台湾との交換中学生事業です。この事業は、途中でコロナ禍による中断がありました。それでも、今年で40年になります。送り出しの年。そして、迎え入れの年。それを交互に、毎年続けてきた。40年ですよ。これは、簡単にできることではないと思います。

台湾40年の重み

私は今年1月末、台湾からの中学生を受け入れた時の懇親会に参加しました。正直に言うと、言葉はほとんど通じません。でも、一緒に食事をして、同じ場所にいる、その場の雰囲気共有していると、不思議と伝わるものがあります。言葉は通じなくても、「この人は、この交流を本当に楽しんでいるんだ」ということが伝わってくる。これは単なる「国際交流事業」ではないと思います。40年間、先輩から先輩へ。そして次の世代へ。「この事業を続けよう」という思いが受け継がれてきた。だからこそ、私はこの事業を、三島西ロータリークラブの大きな誇りの一つだと思っています。

でも、私が仲間を感じたのは……

ただ、今日ここで私が一番お話したいのは、台湾事業だけではありません。むしろ私自身が、「ロータリーって楽しいな」「この人たちと一緒にいたいな」と感じるようになったのは、もっと日常的なところでした。それが、親睦です。私はゴルフが好きなので、三島西ロータリークラブのゴルフ同好会にも参加しています。現在、40名以上の方がいらっしゃいます。年間10回ほどコンペがあります。そして、ゴルフをするだけではありません。終わった後には表彰式があります。そこでお酒を飲みながらその日のゴルフについて一人ずつ話したりします。これが、私は結構好きなんです。例会では、「こんにちは」「今日はよろしく願います」と挨拶はします。でも、例会の時間だけでは、なかなかゆつくり話す機会のない先輩もいます。ところがゴルフに行くと、一緒に18ホール回って、終わってからお酒を飲みながら話す。そうすると、「あ、この人ってこういう人なんだ」ということが分かってくる。そして、会に参加するたびに、少しずつ距離が縮まっていく。私は、これを実感しました。もちろん、ゴルフだけではなく。例会以外での飲み会。お祝いの会。そして今年、私はスナッグゴルフのイベントにも関わりました。単純に当日だけ参加するわけではありません。準備があります。会議があります。打ち合わせがあります。そして当日の運営があります。終わった後には、直会があります。そこで、同年代の人たちや、少し上の世代の方たちと一緒にになって、一つのものを作る。準備から一緒にやる。当日も一緒に汗をかく。終わったら一緒に飲む。そうすると、また一つ、「仲間」ができる。私は、この感覚がすごく大事なんじゃないかと思っています。

会員増強について、私が考えたこと

ここまで自分の経験を振り返って、8月8日のセミナーの話をもう一度考えてみました。すると、会員増強って、「誰かを説得して入会してもらう」ことではないんじゃないかと思いました。もちろん、声をかけることは必要です。でも、「ロータリーに入りませんか？」だけでは弱い。それより、「今度こんなことをやるんだけど、一緒にやらない？」の方が自然なんじゃないか。例えば、台湾の交流事業。ゴルフ。スナッグゴルフ。地域の奉仕活動。飲み会。お祝い。麻雀。何でもいい。まず一緒に行動する。一緒に笑う。一緒に汗をかく。一緒にお酒を飲む。そうすると、「この人たちと一緒にいるの、楽しいな」となる。その先に、「ロータリーに入りませんか？」があるんじゃないでしょうか。

新しい人に「役割」を渡す

そして、講師のお話の中でも、私がもう一つ重要だと思ったことがあります。それは、若い会員、入会したばかりの会員に、積極的に役割を渡すということです。これは、私自身も経験しています。何かの活動に参加して、「これをお願い」と言われる。すると、ただ参加しているだけではなく。自分もそのクラブの一員なんだ、という感覚が生まれる。そして、一緒にやった人との距離も縮まる。だから、新しい会員を増やすことと、新しい会員が辞めないことは、実は同じことなのではないかと思っています。

最後に、8月8日のセミナーから今日8月13日まで、5日間、いろいろ考えました。そして、今の私なりの答えは、「三島西ロータリークラブは、楽しい場所だ」ということです。もちろん、ロータリーには奉仕があります。台湾との交流があります。40年間続いてきた素晴らしい歴史があります。それは、私たちが誇るべきものです。でも、それだけではなく。ゴルフがあります。飲み会があります。麻雀があります。お祝いがあります。スナッグゴルフがあります。私は入会して2年ですが、この2年間で、たくさんの方と知り合うことができました。そして、皆さんのことを知るほど、もっとこのクラブのことが好きになりました。だから私は、誰かを無理やりロータリーに誘うのではなく、これからは、「三島西ロータリーって、こんなに楽しいよ」と伝えたいと思います。そして、「今度、一緒にゴルフやりませんか？」でもいい。「スナッグゴルフ、一緒にやりませんか？」でもいい。「今度、飲みに行きませんか？」でもいい。まずは、「一緒にやりませんか？」から始めたいと思います。その先に、「ロータリーに入りませんか？」があればいい。そして私自身も、会員増強を誰かに任せるのではなく、自分自身が、「このクラブのことをもっと知ってもらいたい」と思って行動できる人間になりたいと思います。8月8日に聞いた講師の言葉を借りるなら、人は、一人では寂しい。だから仲間と集まる。同じ夢を見て、同じ時間を過ごす。私は、それがロータリーの楽しさの一つなんじゃないかなと思っています。三島西ロータリークラブには、40年間続いてきた誇りがあります。そして、一緒に笑える仲間がいます。私は、この両方があることが、三島西ロータリークラブの魅力だと思っています。これからも、皆さんと一緒に、楽しくロータリーをやっていきたいと思います。そして、一人でも多くの人に、「三島西ロータリーって、楽しそうだね」と思ってもらえるように、私自身も日々ロータリアンとして、自分を高めながら活動していきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

ら、新しい会員を増やすことと、新しい会員が辞めないことは、実は同じことなのではないかと思っています。

最後に、8月8日のセミナーから今日8月13日まで、5日間、いろいろ考えました。そして、今の私なりの答えは、「三島西ロータリークラブは、楽しい場所だ」ということです。もちろん、ロータリーには奉仕があります。台湾との交流があります。40年間続いてきた素晴らしい歴史があります。それは、私たちが誇るべきものです。でも、それだけではなく。ゴルフがあります。飲み会があります。麻雀があります。お祝いがあります。スナッグゴルフがあります。私は入会して2年ですが、この2年間で、たくさんの方と知り合うことができました。そして、皆さんのことを知るほど、もっとこのクラブのことが好きになりました。だから私は、誰かを無理やりロータリーに誘うのではなく、これからは、「三島西ロータリーって、こんなに楽しいよ」と伝えたいと思います。そして、「今度、一緒にゴルフやりませんか？」でもいい。「スナッグゴルフ、一緒にやりませんか？」でもいい。「今度、飲みに行きませんか？」でもいい。まずは、「一緒にやりませんか？」から始めたいと思います。その先に、「ロータリーに入りませんか？」があればいい。そして私自身も、会員増強を誰かに任せるのではなく、自分自身が、「このクラブのことをもっと知ってもらいたい」と思って行動できる人間になりたいと思います。8月8日に聞いた講師の言葉を借りるなら、人は、一人では寂しい。だから仲間と集まる。同じ夢を見て、同じ時間を過ごす。私は、それがロータリーの楽しさの一つなんじゃないかなと思っています。三島西ロータリークラブには、40年間続いてきた誇りがあります。そして、一緒に笑える仲間がいます。私は、この両方があることが、三島西ロータリークラブの魅力だと思っています。これからも、皆さんと一緒に、楽しくロータリーをやっていきたいと思います。そして、一人でも多くの人に、「三島西ロータリーって、楽しそうだね」と思ってもらえるように、私自身も日々ロータリアンとして、自分を高めながら活動していきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

入会おめでとう



山田 充洋君

生年月日 1972年10月31日

事業所 充工務店

役職 代表